

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

令和2年第2回（3月）定例会

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 宮 | 澤 | 一 | 照 |
| 2 | 渡 | 部 | 道 | 宏 |
| 3 | 村 | 越 | 洋 | 一 |
| 4 | 天 | 野 | 京 | 子 |
| 5 | 小 | 嶋 | 正 | 彰 |
| 6 | 岩 | 崎 | 芳 | 昭 |
| 7 | 高 | 田 | 保 | 則 |
| 8 | 霜 | 鳥 | 榮 | 之 |
| 9 | 丸 | 山 | 政 | 男 |

予算総括質疑通告要旨

令和2年第2回（3月）定例会

1 宮澤 一 照

1 地方創生推進事業に関連して

- 1) 地域力創造アドバイザー制度の活用について、地域の魅力や価値を向上させるための指導・助言とあるが、具体的な取り組み内容はどのようなか。
- 2) みょうこうミライ会議の開催について、具体的な取り組み内容はどのようなか。

2 関係人口創出・拡大事業に関連して

関係人口の創出・拡大に向けたワーケーションの推進やテレワーク研修交流施設の整備について、具体的な取り組み内容はどのようなか。

3 道の駅あらい推進事業に関連して

拡張道の駅あらいのオープニングイベント及び道の駅あらい誘客促進イベントについて、どのような内容か。

4 水道事業に関連して

水道事業の安定的な経営を維持するため料金改定が行われるが、改定時期についての考えはどのようなか。

2 渡部 道 宏

1 図書館等複合施設整備計画策定について

新図書館を核とする都市機能複合施設の内容はどのようなか。

2 学校給食運営・食育推進事業での給食主食代無償化について

- 1) 給食主食代の無償化の現状はどのようなか。
- 2) 今後、副食の無償化の年次的な計画はどのようなか。

3 秘書用務について

- 1) 普通旅費の予算額について、平成30年度決算に比べ大幅な増額となっているが、その用途はどのようなか。
- 2) 旅費を使った効果はどのように施策に反映されているのか。

1 情報システム運用管理事業について

市役所1階におけるWi-Fiの利用状況はどのようなか。

2 広報・広聴活動推進事業について

1) パブリックコメント実施の評価はどのようなか。

2) みょうこう安全・安心メールの活用はどのようなか。

3 地域づくり応援事業について

1) 妙高里山応援団（サトヤマン）の検証と今後の取り組みについてどのようなか。

2) 地域の元気づくり活動補助金のこれまでの成果や今後の考え方についてどのようなか。

4 ごみ減量・リサイクル推進事業について

1) フードドライブの推進内容と求める成果はどのようなか。

2) 食品ロスの削減活動について、もったいない！食べ残しゼロ運動の取り組み内容はどのようなか。

5 学校給食運営・食育推進事業について

安心安全な給食の提供、食育等による地域の課題解決に繋がる食の提供はどのようなか。

6 パソコン等による情報教育推進事業について

1人1台の情報端末整備やWi-Fi整備、文科省の「未来の学び」に係るEdTech（エドテック）やSTEAM（スティーム）教育等の対応についてどのようなか。

7 コミュニティ・スクール推進事業について

学校運営協議会の活動状況や成果はどのようなか。

8 生涯学習推進事業について

地域活動人材制度の取り組み内容はどのようなか。

1 すくすく親子健康づくり事業について

- 1) 産前・産後の支援費用助成の家事・育児などの援助について、内容はどのようなか。
- 2) 助産師による沐浴などの指導について、子ども1人あたり10回までとした理由はどのようなか。
- 3) 出産サポートタクシー費用助成について内容はどのようなか。
- 4) 出産費用助成について、第3子以降の出産に対する助成内容はどのようなか。

1 歳入確保及び基金運営について

- 1) 歳入確保と今後の見通しについて
 - ① 経済動向に左右される地方消費税交付金の見通しはどのようなか。また歳入の34.7%を占める地方交付税の算定要因である人口減少の影響と中長期的な財政見通しはどうか。
 - ② 県では財政悪化で投資的経費や補助金の縮減を行っているが、当市への影響と対応はどのようなか。
 - ③ 法人市民税、固定資産税は前年に比べ減少しているが、今後の見通しはどうか。
 - ④ 財源確保の観点から「稼ぐ力」を高める施策をどのように考えているか。
- 2) 各種基金の運営について
 - ① 財政調整基金の状況と当市における適正な額をどのように考えているか。
 - ② 公共施設等適正管理基金について、令和元年度の積み立てを取り崩す予定だが、一層の積み立てにより、施設の更新・改修に備えるべきではないか。
 - ③ 妙高山麓ゆめ基金について、収入源であるふるさと納税の見通しと増加策はどのようなか。

2 保育園運営費について

- 1) 市内の多様な地域性や多様化する保育サービスに対応し、総合計画で目指す自然環境を活かした体験活動や地域と連携した「ほんもの教育」の実現に向けた取り組みはどのようなか。
- 2) 保護者のニーズに対応できる多様な子育て環境の提供と行政コストの縮減について、保育園民営化検討の経過と今後の方向性はどのようなか。

3 図書館管理運営事業について

- 1) 特色ある図書館を目指した蔵書の選定基準制定及び、図書購入費の拡充についてはどのようなか。
- 2) 市民や学識経験者の参画による幅広い図書館活動とするため、図書館協議会の設置についてはどのようなか。
- 3) 指定管理者による運営について、再検討が必要ではないか。
- 4) 新図書館における利用者の拡大対策、複合施設の機能を活かした図書館の魅力アップをどのように考えているか。

4 職員管理事業について

- 1) 多様化する市民ニーズに対応できる視野の広い職員の育成を図るため、居住地の地域活動や特別休暇制度による災害ボランティア等に参加しやすい職場環境の醸成についてはどのようなか。
- 2) 職員の65歳定年延長を控え、民間経験者等の社会人枠採用により30代後半から40代の就職氷河期世代人材を採用し、職員の年齢構成の偏りの是正についてはどのようなか。

6 岩崎芳昭

1 生命地域妙高環境会議事業について

- 1) 令和元年度入域料徴収の取り組み状況はどのようなか。
- 2) 令和2年度入域料の使途についてどのように考えているか。
- 3) 入域料の使途についてはどのように公表するのか。
- 4) 人件費相当分は市で負担し、いただいた入域料は、登山道整備やライチョウの生息環境の保全等に関する事業の費用に充当すべきと考えるがどうか。

2 鳥獣対策事業について

- 1) 年々拡大する農作物等の有害鳥獣被害に対する取り組みと、課題をどのように考えているか。
- 2) 令和2年度の有害鳥獣駆除の計画はどのようなか。
- 3) 捕獲用具の充実の考えはどうか。

3 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 近年の1人1日あたりのごみの排出量（可燃ごみ）と、排出量目標値に対する達成度及びごみ焼却処理費用はどのようなか。
- 2) ごみ減量への意識啓発についてどのように考えているか。

4 焼却施設管理運営事業について

- 1) 生活様式の変化により、使い捨て用品や石油化学系ごみなど、排出される焼却ごみの「ごみ質（ごみの組成割合）」の変化はどのようなか。
- 2) 高齢化社会が一層進み、介護用品等の処理困難ごみが増加すると考えられるが、焼却処理計画や焼却施設への影響はどのようなか。

5 農業振興費について

- 1) 小規模農家をはじめ収益性の高い農業の推進などを図る必要あるが、現状と取り組みはどのようなか。
- 2) 「地産地消」から地域の需要動向を把握した後に生産計画を立て、安定的な生産体制を作ることができる「地消地産」に転換する考えはどうか。
- 3) 暖冬少雪による農業用水の不足が懸念されるが、4月下旬から始まる農作業への農業用水確保対策はどのようなか。

6 林業振興費について

- 1) 市内の私有林人工林面積、林業従事者数の現状はどのようなか。
- 2) 歳入予算の森林環境譲与税の関連事業はどのようなか。
- 3) 山村多面的機能発揮対策交付金を活用した里山保全について
 - ① 山村多面的機能発揮対策交付金を活用した里山林の保全活動の取り組みを積極的に周知し、地域住民が主体となった里山林の保全と有害鳥獣対策の取り組みを誘導すべきと考えるがどうか。
 - ② 山村多面的機能発揮対策交付金の基準単価の削減分を森林環境贈与税財源から上乗せ支援を図り、山村多面的機能発揮対策交付金事業の活性化を図るべきと考えるがどうか。

7 観光地域づくり推進について

- 1) ロードバイクと観光を組み合わせた「サイクルツーリズム」について
 - ① ロードバイクの利用実態はどのようなか。
 - ② ガイド養成など「サイクルツーリズム」を推進する考えはどうか。

- 2) 多様化するインバウンド旅行者等への対応や旅行商品の質の向上や、高付加価値化、「語り部や自然体験ガイド養成」など、高度なスキルや専門知識や更には長年の経験など多様な対応力が必要とされており、行政が育成する場づくりをすべきではないか。
- 3) 選ばれ続ける観光地域づくりについて
 - ① 旅先として選ばれるための商品づくり・サービスの充実などの取り組みは、どのように展開していくのか。
 - ② 着地型商品の開発状況はどのようなか。
 - ③ インバウンドブームの中、農山村の資源の価値を再評価すべきでないか。
 - ④ 「総合パンフレットの全面改定」はどのように考えているか。
- 4) 標識や案内表示の見直しについて
多言語看板よりも、国際共通の「絵文字表示（ピクトグラム）」を導入する考えはないのか。
- 5) 地域内経済循環の拡大策について
 - ① 地域内で十分に時間を使ってもらおうソフトの充実や対策はどのようなか。
 - ② 資材の地元調達率を上げる取り組みをどのように考えるか。

7 高田保則

1 生命地域妙高環境会議について

- 1) クラウドファンディングが充当され、火打山ライチョウの保護対策が行われるが、クラウドファンディングの取り組み結果はどのようなか。
- 2) 生命地域妙高環境会議において、ライチョウを第2の市の鳥としての検討状況はどのようなか。
- 3) 生命地域妙高環境会議は市民に公開しているか。
- 4) 妙高山・火打山における入域料について、本格導入後の運用方法はどのようなか。

2 観光地域づくり推進事業について

妙高ツーリズムマネジメントに対する補助金が計上されているが、事業の連携体制はどのようなか。

3 観光誘客推進事業について

インバウンド観光客の来訪について分析が必要だが、体制はどのようなか。

1 医師確保に向けた取り組みについて

- 1) 医師養成修学資金貸与制度の創設について、今後の取り組みはどのようなか。
- 2) 診療所開設への補助について、診療所の内容はどのようなか。

2 国民健康保険税について

税制改正に伴う保険税の見直しについて、(3月2日の全協で説明のあった改正概要に関連して) 基礎課税額や被用者保険の考え方はどのようなか。

3 生活習慣病予防健診について

- 1) 健診会場の見直しについて、見直しの結果と関係地域住民の認識等についてはどのようなか。
- 2) 健診会場の見直しによるメリット・デメリットについてはどのようなか。

4 定期予防接種の実施について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の改正概要はどのようなか。また、ロタウイルス予防接種について、感染症の内容や注意状況等と周知についてはどのようなか。

5 生活交通確保対策事業について

- 1) 中心拠点における循環バスの実証運行の実施について、具体的内容はどのようなか。
- 2) 地域特性に対応した運行形態の見直し等の再編について、コミバスの運行と運行保障についてはどのようなか。
- 3) 公共交通マップの作成について、活用方法はどのようなか。

6 クラインガルテン妙高について

- 1) 20区画のうち、現在の利用状況はどのようなか。
- 2) 移住・定住者は9組と聞いているが、その内容はどのようなか。
- 3) 交流事業の取り組みはどのようなか。

1 ガス上下水道事業について

- 1) 「各事業の施設、設備の老朽化に伴う更新と共に耐震化等の災害対応などの需要が今後拡大していくために、経営を圧迫するなどの影響が懸念される」とガス上下水道事業のあり方検討について報告があった。需要拡大は市民生活の安心・安全を支えるライフラインとして当然のことである。民営化は行政からの放棄とならないか。
- 2) 職員数の減少により職員配置が困難になるとの報告があったが、市町村合併以来一貫して将来の配置も考慮せずに、無計画のままで職員の削減を行ってきた結果ではないか。行政の無策のつけを市民に押し付けることは容認できないが、職員数の減少に対する考えはどのようなか。
- 3) 民営化は公営事業と異なり、租税や占用料など新たな負担が発生するにも関わらず、民営化により儲け第一での株式会社の人件費切り下げや議会審議抜きでの料金引き上げなどが容易になるからではないか。
市民生活を支えるという視点が欠如してはいないか。

2 第3次総合計画から人口減少問題に関する戦略目標について

- 1) 妙高市における安定した雇用の創出と人材育成の取り組み内容はどのようなか。
- 2) 妙高市への「人の流れ」の創出の取り組み内容はどのようなか。
- 3) 結婚を奨励する施策の推進の取り組み内容はどのようなか。
- 4) 出産の希望をかなえる施策の推進の取り組み内容はどのようなか。
- 5) 子育てしやすいまちづくりの推進の取り組み内容はどのようなか。